

市民病院だより

地域と共に考える医療



外科 多和田 翔

日本外科学会 外科専門医



岐阜市民病院にて初期研修と後期研修を終え、母校である岐阜大学腫瘍外科にて消化器外科の診療にあたりておりましたが、このたび、4月1日付けで多治見市民病院外科に異動してまいりました。

赴任してからは、消化器や呼吸器の悪性疾患(癌など)を中心に、虫垂炎や胆嚢炎などの良性疾患、急性腹症や外傷などの救急疾患に対して幅広く外科診療を行っております。まだまだ若輩者ですが、当院を受診される患者に安心できる医療を提供できるよう精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いいたします。

当院外科は、癌専門病院と同等の安全性の高い手術や抗癌剤などの治療を提供することを指針として、日々診療を行っております。手術においてはいち早く腹腔鏡手術を導入し、虫垂炎(盲腸)や胆嚢炎、ヘルニア(脱腸)をはじめ、現在では大腸手術の9割を腹腔鏡下に行

っております。また胃の手術においても木沢記念病院や岐阜大学病院腫瘍外科と連携し、腹腔鏡の手術を行っております。手術だけでなく、手術後の癌の再発を防ぐための治療(術後補助化学療法)や、再発に対する化学療法・放射線療法などにも取り組んでおります。化学療法は、専任のスタッフによって行うことで、患者に安心して受けていただくことと思っております。また緩和治療も積極的に行っており、抗癌剤治療中の患者さんの不安や苦痛の話をよく聞かせていただき、患者やその家族の方々にとって最善の治療を提供できるように努力しております。

悪性疾患だけでなく、切傷・擦傷などの外傷処置や皮下腫瘍の切除、虫垂炎や胆嚢炎の手術など幅広く診療しておりますので、体のことで心配なことがございましたら、ぜひご来院ください。

問 市民病院 TEL 22-5211

子どもの権利を考えよう

子ども会議☆子どもスタッフ

問 くらし人権課 升田 TEL 22-1128

平成15年9月に多治見市は、子どもの権利を尊重する「多治見市子どもの権利に関する条例」が制定され、今年で15周年を迎えました。

条例の第11条で、「市は、子どもがまちづくり、市政などに意見を表明し、参加できるようにするために、たじみ子ども会議を開催します」と定め、年1回「たじみ子ども会議」を開催しています。

子どもたちの主体性を大切に、会議の企画運営は市内小学4年生から高校3年生までの「子ども会議☆子どもスタッフ」が行います。毎月1回スタッフ会議を開催し、回を重ねるごとに、会議の進め方について次のようなアイデアが出されることがあります。

- 意見がまとまらないので人数を分けたい
- 一人ひとりの意見を付箋に書いて貼ろう
- 出た意見を仲間分けするといよいよ

住んでいる地区・年齢も違う子どもたちが、積極的に意見を出しやすくする雰囲気作りのためゲームを取り入れることもあります。

「子ども会議☆子どもスタッフ」は、子ども会議の準備のほかに、子どもの権利の普及広報、セミナーのパネルリスト、ラジオ番組への出演など活動の場を広げています。今年「多治見まつり」のパレードにも参加予定です。「子ども会議☆子どもスタッフ」は随時募集しています。

※「子ども会議」、「子どもスタッフ会議」の様子やスタッフ登録は、市役所ホームページでご覧いただけます



▲子どもスタッフ会議の様子



◀子ども会議

